

「硫黄岳ドリームチーム」

山行内容：美濃戸口→行者小屋テン泊「忘年会」→赤岳鉱泉で他メンバーと合流→硫黄岳→美濃戸口
時： 2019 年 12 月 14、15 日メンバー： CL 金・S L 池田・高山・松本・秋山・村尾・佐藤美・鶴田・小宮山・秋本・下牧・小野山
天候： 14 日 曇りときどき晴れ、風強 夜曇り、雪のち晴れ 無風 15 日 晴れ 無風



出発前に



テント撤収、行者は寒い・・・雪は無いに等しいかったです。



これから硫黄岳に向かいます！

- 14 日
- 6:30 千葉駅北口集合
- 10:20 美濃戸口到着
- 11:00 出発
- 12:00 八ヶ岳荘 休憩
- 14:00 行者小屋到着
- 17:00 忘年会
- 20:00 過ぎ ぼちぼちお開き
- 15 日
- 7:30 行者小屋出発
- 8:00 赤岳鉱泉で（小宮山、秋山、下牧）合流
- 8:30 赤岳鉱泉出発
- 10:45 硫黄岳 8 合目付近
タイムオーバーの為撤退
- 12:30 赤岳鉱泉出発→美濃戸口へ
池田、鶴田、佐藤美
- 13:30 残りメンバー出発
- 15:30 全員美濃戸口へ下山



意外と遠い行者小屋



肩を寄せ合って忘年会♪楽♪



行者小屋に到着し忘年会が始まるまでとても寒かったのですが稜線手前まででしたが、一つのテントでぎゅうぎゅうになってのお鍋と熱気でとても温かかったです！

晴天無風、景色も抜群でした！

盛り上がった忘年会でした。

硫黄へは途中まででしたが、お天気に恵まれ素晴らしい景色を見ることができました。

雪が少なく、アイゼン装着の判断が難しかったです。

美濃戸口から赤岳鉱泉までの橋の数は 15 橋です♪ ちば山のレジェンド (G & B)、新人、入り混じっての大人数山行とても安心して楽しく歩けました。

(佐藤美)



硫黄岳チームリーダーの反省日記 (金)

望年山行と銘打って宴会がメイン (!?) な私にとって山行はあくまでも宴会の酒を美味しく頂くための儀式としている身としてはある程度の負荷はかけないといけないと思い、ユルいチームを作ってみました。最初は車一台分集まればいいかなと思っていたら、日帰り別働隊とも合流する最終的には大変にぎやかな大家族となりました。

いつも下界では会っていても一緒に山を歩くのは初めてだったり、久々の人がいたり、新旧入り混じって望年ならではのチーム編成がとても新鮮で楽しかったです。

今年になって何度か見習いリーダーとして (いや、単なる言いだしっぺとも言う) 周りの人々を巻き込み、行動することによって色々な人と話したり山行に行く契機になったと思います。

今回の山行は雪山入門編のつもりであったが求める雪の白さはなくどこまでも茶色の地面が続き、拍子抜けしてしまいましたが硫黄岳に登る間ほんのわずかながらに雪を踏むことができました。

雪のあまりの少なさに寂しいような一方、私の中では安堵の一息も漏れた。いや、雪を踏めないのは悲しいが、たっぷりの雪にラッセル地獄、カッ飛ばされそうな暴風を体験してる身としては、硫黄岳の神様のご加護があったということにしておこうと思うのでありました。

今回の硫黄岳は大人数の割にタイトなタイムスケジュールだったので、あれほど恵まれた天気だったにも関わらず途中撤退となり、正直個人的に残念でした。何分、冬の硫黄岳には 5~6 回行っているにもかかわらず、冬は必ず暴風雪に見舞われてたので、晴れた無風の硫黄岳にまた会えるのだろうかと思ひながら、後ろ髪をひかれるような思いで後にしました。

それにしても行者小屋の寒風はキビしかったなあ。みんな、バリバリのアイスバーンに滑って転びながらもめげずに宴会会場を設営して大宴会。カマテンの宴会ってホントに楽しい。大きなテントの特典というか醍醐味よね。ソロテントを並べて宴会する気がしれない (笑)

狭くて、足がつっても、来年への抱負とかを話ってしまうようなそんな密な距離感がテントの宴会だなあと思うのでありました。

ああ、本当は美濃戸口の J & N でおやつを食べたかったのになあ。

こうやってまた八ヶ岳に宿題を残し、また遊びにおいでと八ヶ岳の神様に言われてるような気がしてなりません。

最後に山行を共にしたチームの皆様、チームは違えども同じテントで宴会をした皆様、ありがとうございました。

ちば山忘年山行 2019年
「硫黄岳ドリームチーム」

